あおぞら

Denenchofu Central Hospital Free Paper

Vol. 42
2019.10

田園調布中央病院
広報誌あおぞら

TOPICS: 内視鏡検査ってどんなもの?

-内視鏡検査を受けよう- 田園調布中央病院　内視鏡室

内視鏡検査の可能性

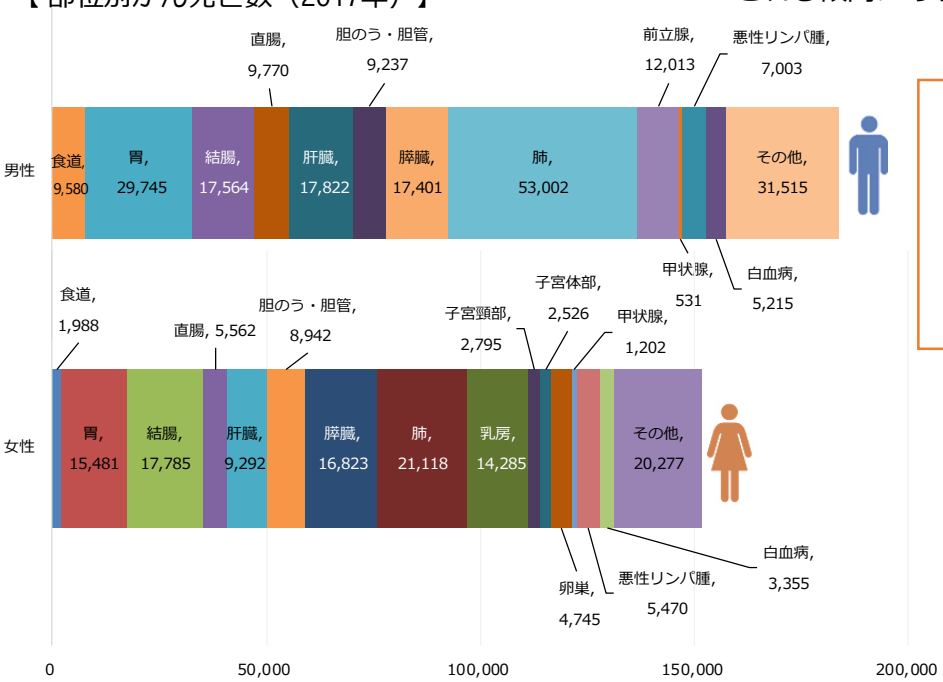
現在、日本の死因理由で最も多いのはがんとされています。２人に１人ががんにかかり、３人に１人は、がんで亡くなる時代と言えます。特に多いのは胃がん、大腸がんです。

平成29年にがんで死亡した人数は37万3千334人にあがります。

死亡数が多い部位は…

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	**胃**	**大腸**	肝臓	膵臓
女性	**大腸**	肺	膵臓	**胃**	乳房

【部位別がん死亡数（2017年）】



がんの死亡率は男女とも、およそ60歳から増加し、高齢になるほど高くなります。

男性では、40歳代で消化器系のがん（胃・大腸・肝臓）の死亡率が多く占め、70歳代以上でその役割はやや減少し、肺がんと前立腺がんの割合が増加します。女性では、40歳代は、乳がん・子宮がん・卵巣がんの死亡が多くを占めますが、高齢になるほどその割合は減少し、消化器系のがんと肺がんの割合が増加します。

消化器系のがんの多くは、内視鏡検査で発見することができます。近年、婦人科系のがんについて注目され、マンモグラフィー検査（乳がん）を受けられる方が増加しましたが、内視鏡検査は苦痛や羞恥の心配からハードルが高く、まだまだ敬遠される傾向にあります。

胃がん・大腸がんは男女ともに多いがんなんだなあ…

そろそろ内視鏡検査を受けたほうがいいかしら…

受けるタイミングってあるのかしら…

資料：国立がん研究センター
がん対策情報センター「がん登録・統計」

そこで重要なのが早期発見・早期治療です。そして消化管（胃や大腸）のがんに有効な検査こそ内視鏡検査です。定期的に検査を受け、病気が早期に発見された場合、通常の内視鏡検査と同様に口や肛門からスコープを挿入し、一切お腹に傷を作らずがんの切除が可能です。

また、総胆管の結石の除去、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の出血の処置、誤飲した入れ歯や薬のシートの除去等、内視鏡を用いてできる処置はたくさんあります。

内視鏡検査を受けてみましょう！

◎胃カメラ

予約方法

事前に外来を受診し、検査の説明を受けた後、予約を取ります。

検査前日

検査日の前日は22時以降の食事は禁止です。
飲水は検査2時間前まで可能です。

検査当日

検査時間の30分前に来院し、問診・血圧測定等検査の準備をします。
白い液体の粘液除去剤薬を飲み、スプレーで喉の麻酔をします。ご希望の方には、鎮痛剤を注射します。
検査時間は10分～15分程度終了します。鎮痛剤を希望された方は検査後の40分～60分程休憩します。
撮影した画像写真を見ながら、検査の説明を聞きます。飲食は検査終了1～2時間後から可能です。

◎大腸カメラ

予約方法

事前に外来を受診し、検査の説明を受けた後、予約を取ります。

検査前日

消化のよい食事をとり、就寝前に下剤（錠剤）を飲みます。

検査当日

検査時間に合わせて8時30分～10時に来院し、腸管洗浄剤を内服します。

腸管洗浄剤1リットルを1時間かけて飲み、その後、水か茶を500ミリリットル飲みます。排便が6～10回あり、ほぼ透明の水様になったら腸管洗浄剤1リットルで服用終了です。
※従来2リットルの薬を服用して頂きましたが、患者さまのご負担を少しでも軽減するように考え、新しい薬を採用しています。

検査時間は約30分、ポリープを切除する際は1時間程度で終わります。（腸の形態、ポリープの数等により例外あり）検査後1時間程度休憩します。撮影した画像の写真を見ながら、検査の説明を聞きます。飲食は1～2時間後から可能です。（ポリープを切除した場合等、例外あり）

内視鏡検査後の注意事項（胃・大腸）

- 車の運転禁止（検査当日）

  検査は体に侵襲を与えますので検査当日の運転は控えていただいています。また、鎮静剤を使用される方は薬の影響が検査後残りますので運転は禁止です。

- 激しい運動は避ける

  まれに、つまんだ部分から出血することがありますので検査当日は安静にお過ごしください。

- お風呂はシャワー程度に

  熱い湯に浸かることは出血の原因になることがありますので控えましょう。

どんなタイミングで内視鏡検査を受けたほうがよいのでしょうか?

◎内視鏡検査をすすめられる症状

- ✓ 喉または胸のつかえ感
- ✓ 胃の不快感や胸焼けする
- ✓ お腹の痛み
- ✓ 吐き気や嘔吐する
- ✓ 黒い便が出る
- ✓ 血便が出る
- ✓ 便通の異常（便秘、下痢）
- ✓ 腹痛、膨満感

上記の症状は、食道、胃、十二指腸の潰瘍や炎症と関連していることがありますので検査をおすすめします。
また、症状がなくても次のような方は、がんなどの疾患を見逃さないために検査をおすすめします。

- ✓ 貧血を指摘されている
- ✓ 体重が急に減った
- ✓ バリウムによる胃の検査で異常を指摘された

◎定期的な検査をすすめる場合

潰瘍は再発することが多い疾患です。肝硬変は食道や胃に静脈瘤を合併し出血することがあります。がんは治ったと言われていても再発を見逃さないことが大切です。次のような方は定期的な検査をおすすめします。

- ✓ 過去に胃潰瘍、十二指腸潰瘍になったことがある
- ✓ 肝硬変と言われている
- ✓ 食道がん、胃がんを治療したことがある
- ✓ 大腸がん、大腸ポリープを治療したことがある

がんは早期発見が重要です。この他にもがんになった家族がいらっしゃる方、飲酒、喫煙習慣のある方も検査がすすめられます。
一般にがんの早期発見のためには40歳を過ぎたら定期的に検査をうけることがすすめられます。

田園調布中央病院の内視鏡検査

胃カメラ・大腸カメラの検査と聞いて
皆さまはどのように想像しますか？

「とても苦しいそうだし、絶対に受けたくない！」と思われる方が大半でしょう。

また「過去に辛い経験をしたので二度と受けたくない！」というお声も多く聞かれます。

そんなイメージを払拭したい！！！

私共、内視鏡スタッフは「そんなイメージを払拭したい！」と強く願い、毎日の診療に当たっています。
当院の検査は、内視鏡の専門資格を有する医師が希望により鎮静剤（緊張を取り除き、ウトウト眠くなる薬）を使用しておこないますので、苦痛が少なく終わります。また、看護師も検査に付き添い、温かく患者さまをサポートするよう心がけ、安心して検査を受けていただける環境を整えております。

地域の皆さまにとって内視鏡医療がより身近なものとなるよう、より親身な内視鏡であるよう日々努めお待ちしております。

左下から：鈴木外科医師、成瀬院長、富永消化器外科部長
左上一列：当院内視鏡技師、看護師

旬を味わう秋のさかな

秋刀魚（サンマ）

細長い魚を意味する『狭真魚（サマナ）』という語が、時を経て『サンマ』と呼ばれるようになったと言われています。

青魚に多く含まれるEPA・DHAという2つの栄養素が豊富に含まれています。EPA・DHAは、体内で合成できず、食物から摂取する必要がある必須脂肪酸のひとつです。記憶力・集中力の維持、血液サラサラ（血栓予防）、中性脂肪低下、目の健康維持、アレルギーの予防・改善などの効果が期待できると言われています。また、良質のたんぱく質、歯や骨を作るカルシウム、粘膜に働きかけ細菌から身体を守るビタミンAが含まれています。

※おすすめのお召し上がり方・・・

塩焼き、お刺身

鰹（カツオ）

EPA・DHAを多く含み、血合いの部分には貧血予防の鉄・ビタミンB12、たんぱく質からエネルギーを作り出し、皮膚や粘膜の健康維持に役に立つビタミンB6、その働きを助けるビタミンB2、肝臓の働きを助けるタウリンが豊富に含まれています。

※おすすめのお召し上がり方・・・

EPA、DHAは水分や油に溶けやすいため、お刺身で頂くか、煮汁ごと頂く調理法がおすすめです。日本人の魚離れが想像以上に進んでいます。旬を迎えた栄養満点の魚をぜひお召し上りください。

「2019年度 大田区がん検診」ただいま実施中です！

電話または窓口でご予約を承ります。是非この機会にがん検診をうけましょう！

検診の種類	実施期間	対象者
胃がん検診（エックス線検査）	7月1日～2月29日	40～49歳
肺がん検診	7月1日～2月29日	40歳以上
大腸がん検診	7月1日～2月29日	40歳以上
乳がん検診	7月1日～2月29日	40歳以上の女性
39歳以下基本健康診査	7月1日～12月31日	18歳～39歳
緑内障健診	7月1日～12月31日	45・50・55・60・65歳
前立腺がん検診	6月1日～3月31日	60・65・70歳男性
B型・C型肝炎ウイルス検診	6月1日～3月31日	40歳以上で2018年度まで肝炎ウイルス検診を受けていない方

きまぐれ勉強会

毎週水曜日正午より成瀬院長のきまぐれ勉強会を1階待合フロアで行っております。10月のテーマは…『インフルエンザ なぜ毎年流行するの？』です。参加費無料です。お気軽にお立ち寄りくださいませ。

あおぞら 田園調布中央病院 広報誌あおぞら（2019年10月号） 発行 医療法人社団七仁会 田園調布中央病院
〒145-0071東京都大田区田園調布2-43-1 http://denenchofu-hp.jp/
TEL.03-3721-7121（代表）FAX.03-3722-6435